

## 命の大切さ、生きることの素晴らしさ

私にとって命の恩人と言っても過言ではない先生との出会いがありました。

今から9年前になります。その先生は、今でも現役の大ベテランの先生で、特別支援学級の担任をされています。最初の出会いは、私の長女が入学した学校にいらっしゃった時のことです。長女がその先生から授業を受ける機会もなくスタートしたのですが、PTAの懇親会で偶然、隣の席に座ることになり話をしたことがきっかけでした。お酒を飲む席だったこともあり、大きな声で、よく笑うというのが最初の先生の印象でした。でも、その後、学校での交流もあり、その先生への印象が大きく変わることになりました。長女のことでも担任ではないにも関わらず、本当に親身になって相談を聞いてくださり、何度も助けられました。そんな中、私自身も体調を崩し倒れたことがあり、その先生が、今でも通っているかかりつけの病院を紹介してくださって、倒れたときも病院まで飛んで来てくださったのです。それからもずっと付き合いがあり、別の学校に行かれても、何かあれば相談にも乗っていただいて、我が家まで来てくださることもたくさんあります。

あの時、先生がいらっしゃらなかつたら、きっと今の私はありません。命の恩人であり、心の支えである大きな大きな存在です。何かあれば関わりたくないと思うのが、人間の心理で、本音だと思います。それでも、その先生は上辺だけではなく、本気でぶつかって、本気で応えてくださる素晴らしい先生です。そんな先生が一人でも多く、私や子どもたちを救ってくださったように、活躍できる学校が増えて欲しいと心から願うばかりです。

根木 智子

(一般)